

2023年9月期 決算説明会資料  
(第2四半期)

 **OKUMURA CORPORATION**

2023年11月15日開催

## 連結決算の概要

(単位：億円)

	2022/9期	2023/9期		
	実績	予想 (5月公表値)	実績	対前年同期 増減率
売上高	1,111	1,303	1,356	22.1%
営業利益	36	42	64	75.4%
経常利益	45	47	71	59.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	39	39	57	45.5%

### 【前年同期比】

売上高の増加及び売上総利益率の改善等により増益

- 売上高：245億円(22.1%)増加
- 売上総利益：38億円(29.7%)増加
- 営業利益：27億円(75.4%)増加
- 経常利益：26億円(59.3%)増加
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：17億円(45.5%)増加

### 【業績予想比】

売上高の増加及び売上総利益率の改善等により各利益とも業績予想を上回る

- 売上高：53億円(4.1%)増加
- 売上総利益：26億円(18.7%)増加
- 営業利益：22億円(53.7%)増加
- 経常利益：24億円(52.8%)増加
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：18億円(46.3%)増加

第2四半期の売上高としては、2010年3月期の進行基準全面適用以降、最高値

# 連結B/S

(単位：億円)

	2023/3期末	2023/9期末	増 減		2023/3期末	2023/9期末	増 減
<b>流 動 資 産</b>	<b>1,988</b>	<b>1,977</b>	<b>▲11</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>1,290</b>	<b>1,284</b>	<b>▲5</b>
現金預金	402	327	▲74	支払手形・ 工事未払金等	502	475	▲27
受取手形・ 完成工事未収入金等	1,324	1,470	145	<b>固 定 負 債</b>	<b>414</b>	<b>431</b>	<b>17</b>
有価証券	100	—	▲100	ノンリコース 借入金	260	236	▲23
				その他	120	160	39
<b>固 定 資 産</b>	<b>1,448</b>	<b>1,551</b>	<b>102</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>1,705</b>	<b>1,716</b>	<b>11</b>
有形固定資産	771	759	▲11	<b>株 主 資 本</b>	<b>1,447</b>	<b>1,447</b>	<b>0</b>
無形固定資産	16	16	▲0	資本剰余金	262	264	2
投資その他の資産	660	775	115	自己株式	▲51	▲53	▲1
投資有価証券	549	620	71	その他の 包括利益累計額	272	340	67
				その他有価証券 評価差額金	248	302	54
				非支配株主持分	12	24	12
				<b>純 資 産 合 計</b>	<b>1,732</b>	<b>1,812</b>	<b>79</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>3,437</b>	<b>3,528</b>	<b>91</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>3,437</b>	<b>3,528</b>	<b>91</b>

## 【前期末比】

### ・ 資産の部

- 「受取手形・完成工事未収入金等」の増加  
「現金預金」「有価証券」の減少  
売上高の増加による売上債権の増加や譲渡性預金の満期解約等
- 「投資有価証券」の増加  
上場株式6銘柄、非上場株式4銘柄を売却したものの、  
株価上昇による含み益が増加

### ・ 負債の部

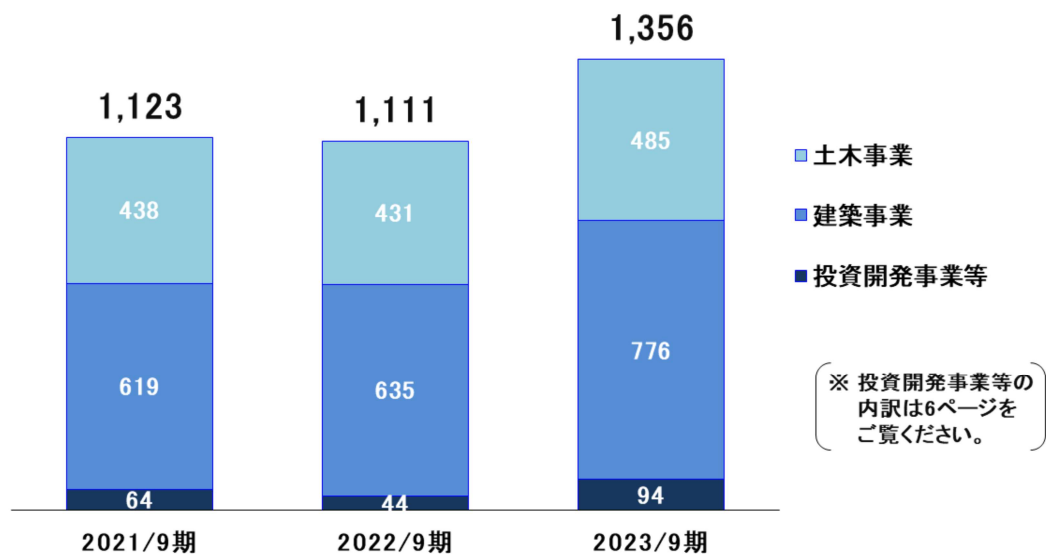
- 「支払手形・工事未払金等」の減少
- 「ノンリコース借入金」の減少  
石狩バイオエナジー等における返済開始
- 「その他」の増加  
投資有価証券の含み益の増加等に伴う繰延税金負債の増加など

### ・ 純資産の部

- 「その他有価証券評価差額金」の増加  
投資有価証券の含み益の増加
- 自己資本比率：50.7% (0.7ポイントアップ)

## 連結P/L(売上高)

(単位：億円)



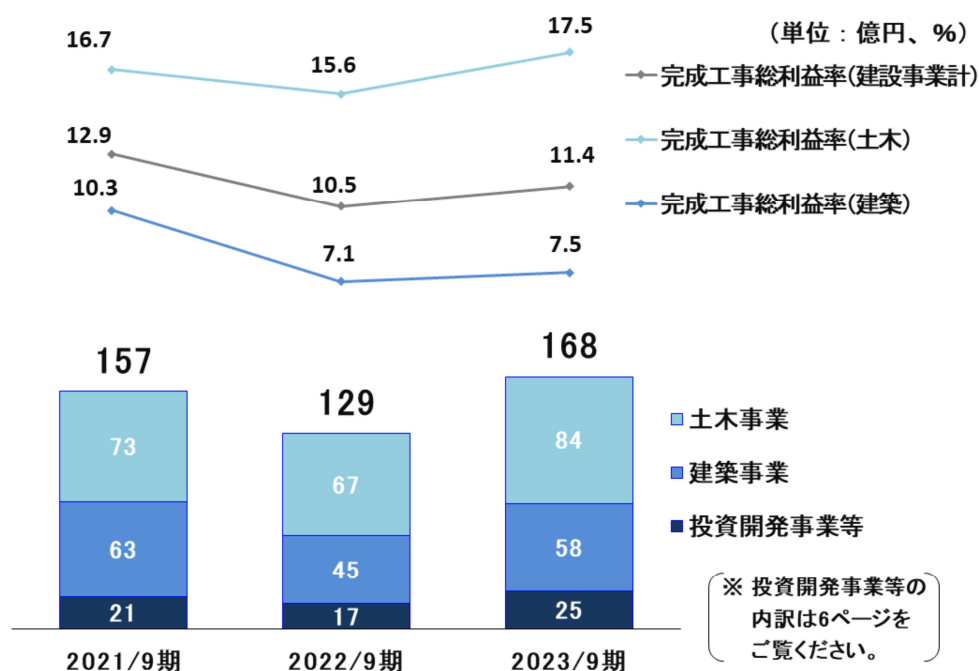
### 【前年同期比】

- 土木：53億円(12.5%)増加
- 建築：141億円(22.2%)増加
- 建設事業計：195億円(18.3%)増加
- 投資開発事業等：50億円(113.0%)増加
- 合計：245億円(22.1%)増加

近年は繰越工事高が高水準で推移しており、完成工事高が増加傾向

石狩バイオエナジーの営業運転開始に伴い、投資開発事業等売上高が増加

## 連結P/L(売上総利益)



### 【前年同期比】

- **土木：17億円(26.2%)増加(利益率1.9ポイントアップ)**  
増収となったことに加え、当期末に竣工予定の大型工事の損益改善等により利益率が改善
- **建築：13億円(29.8%)増加(利益率0.4ポイントアップ)**  
増収となったことに加え、前期に資機材価格の高騰により赤字計上した大型工事が設計変更獲得等により黒字化したことから利益率が改善
- **建設事業計：31億円(27.7%)増加(利益率0.9ポイントアップ)**
- **合計：38億円(29.7%)増加(利益率11.7%→12.4%、0.7ポイントアップ)**
- **工事損失引当金**
  - 土木 ⇒ 2.4億円減少(6.1億円 ⇒ 3.6億円)  
工事完成によるもの ▲1.9億円  
引当超過によるもの ▲0.5億円
  - 建築 ⇒ 4.6億円減少(9.5億円 ⇒ 4.8億円)  
工事完成によるもの ▲0.9億円  
引当超過によるもの ▲3.7億円

## 投資開発事業等の内訳

(単位：億円)

	2021/9期		2022/9期		2023/9期	
〈売上高〉						
不動産事業	25		24		26	
(販売)	4		3		5	
(賃貸他)	21		21		20	
新事業	0		2		44	
その他	39		17		23	
合計	64	100%	44	100%	94	100%
〈売上総利益〉						
不動産事業	17	68.8%	17	69.3%	18	68.6%
(販売)	1	29.3%	1	28.4%	2	37.9%
(賃貸他)	16	76.5%	16	76.4%	16	76.4%
新事業	▲0	▲9.2%	▲2	▲82.6%	2	6.0%
その他	3	9.3%	2	14.6%	4	18.3%
合計	21	32.4%	17	39.5%	25	26.5%

### 【前年同期比】

#### 〈売上高〉

- 不動産事業：1億円増加
- 新事業：42億円増加
  - 石狩バイオエナジー：37億円増加(2023/9期売上高：38億円)
  - 平田バイオエナジー：4億円増加(2023/9期売上高：5.9億円)
- その他：6億円増加
- 投資開発事業等合計：50億円増加

#### 〈売上総利益〉

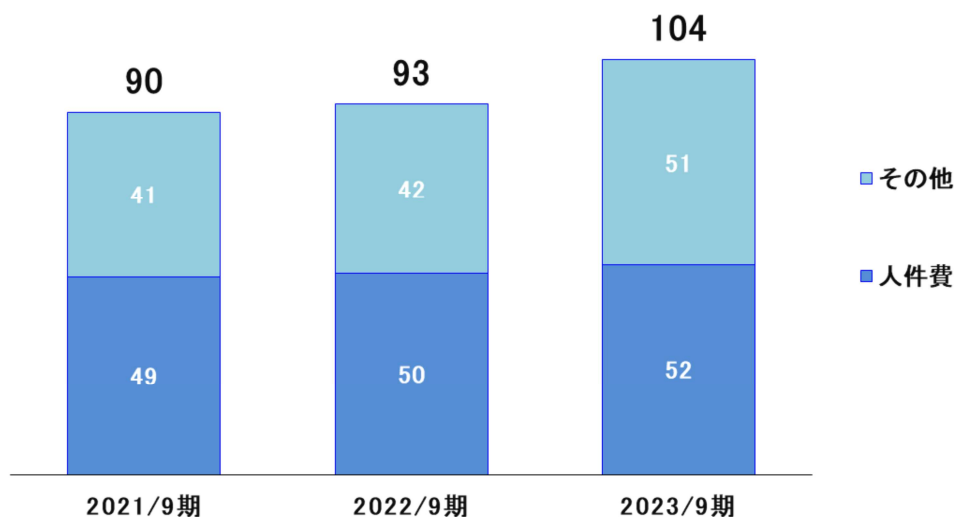
- 不動産事業：0.9億円増加
  - 2023年4月に東京都立川市に収益物件として共同住宅を取得  
(取得価格：約7億円)
- 新事業：4.7億円増加
- その他：1.7億円増加
- 投資開発事業等合計：7.5億円増加

石狩バイオエナジーの営業運転開始に伴い、投資開発事業等のうち「新事業」の割合が増加

高採算の「不動産事業」の割合が減少し、投資開発事業等全体の利益率が低下(13.0ポイントダウン)

## 連結P/L(一般管理費)

(単位：億円)



### 【前年同期比】

- 一般管理費総額：10.8億円増加
- 人件費：1.8億円増加  
2022年4月新設の技術本部の拡充  
「従業員向け株式給付信託」の導入
- その他：8.9億円増加  
海外工事における工事代金の入金遅延に伴う貸倒引当金の計上  
ICT関連費用  
石狩バイオエナジーの発電施設完成に伴う登録免許税

## 連結P/L(営業外収支・特別損益)

(単位：億円)

	2022/9期	2023/9期	
	実績	実績	増減
<b>営業外収益</b>	10	10	▲0
受取利息配当金	6	7	0
<b>営業外費用</b>	2	3	0
支払利息	2	2	0
<b>営業外収支</b>	8	7	▲1
<b>特別利益</b>	10	16	6
投資有価証券売却益	10	10	0
その他	0	6	5
<b>特別損失</b>	0	4	4
固定資産除却損	0	4	4
<b>特別損益</b>	10	12	1

### 【前年同期比】

#### ➤ 特別利益

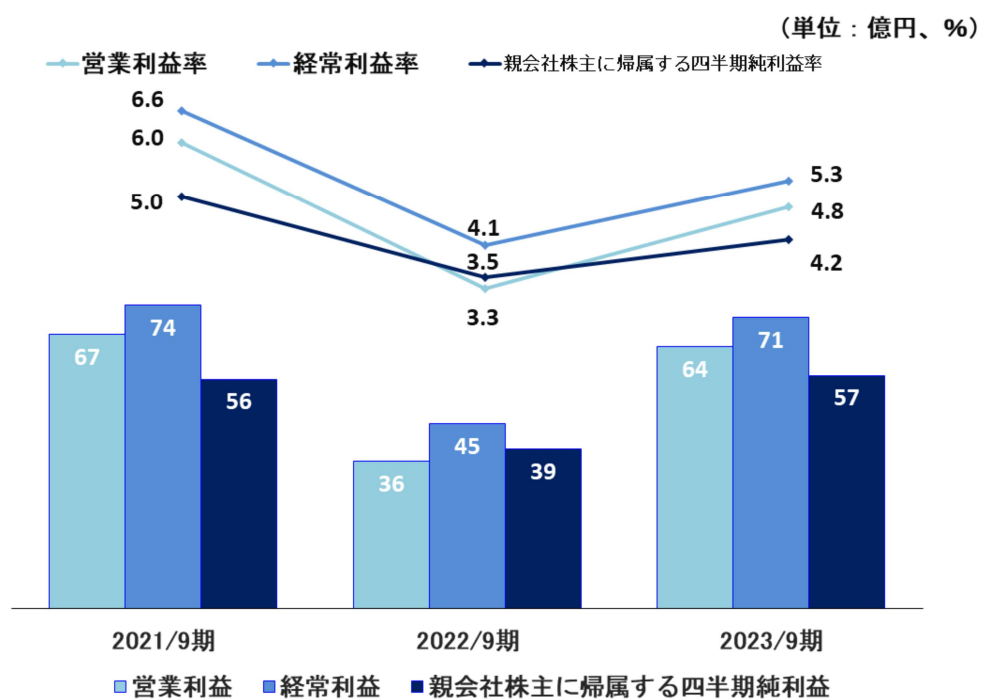
上場株式6銘柄・非上場株式4銘柄の売却による「投資有価証券売却益」  
旧四国支店跡地の売却益

#### ➤ 特別損失

大阪本社に隣接するビル2棟の解体等による「固定資産除却損」



## 利益の推移(連結)



### 【前年同期比】

- 営業利益：27億円(75.4%)増加
- 経常利益：26億円(59.3%)増加
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：17億円(45.5%)増加

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2021/9期	2022/9期	2023/9期	
	実績	実績	実績	増減
営業キャッシュ・フロー	445	34	▲101	▲136
投資キャッシュ・フロー	▲284	▲40	6	47
財務キャッシュ・フロー	▲9	17	▲80	▲98
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1	0	▲0
<b>増減額</b>	<b>152</b>	<b>12</b>	<b>▲175</b>	<b>▲187</b>
現金及び現金同等物の期首残高	201	316	487	171
<b>現金及び現金同等物の 四半期末残高</b>	<b>353</b>	<b>328</b>	<b>312</b>	<b>▲16</b>

➤ **営業活動によるキャッシュ・フロー**

税金等調整前四半期純利益の計上等により増加したものの、売上債権の増加等により101億円の減少

➤ **投資活動によるキャッシュ・フロー**

投資有価証券の売却等により6億円の増加

➤ **財務活動によるキャッシュ・フロー**

配当金の支払い及びノンリコース借入金の返済等により80億円の減少

## 連結業績予想

(単位：億円)

	2023/3期		2024/3期			
	実績		前回予想 (5月公表値)	今回予想		対前期 増減
〈売上高〉						
建設事業	2,366		2,650	2,650		283
┌ 土木	972		1,030	1,030		57
└ 建築	1,393		1,620	1,620		226
投資開発事業等	127		201	201		73
合計	2,494	100%	2,851	2,851	100%	356
〈売上総利益〉						
建設事業	277	11.7%	293	293	11.1%	15
┌ 土木	164	16.9%	173	173	16.8%	8
└ 建築	113	8.1%	120	120	7.4%	6
投資開発事業等	42	33.2%	52	52	25.9%	9
合計	320	12.8%	345	345	12.1%	24
一般管理費	201	8.1%	208	208	7.3%	6
営業利益	118	4.7%	137	137	4.8%	18

- 第2四半期決算においては、土木・建築共に売上総利益が前回予想を上回ったものの、下期に改善を見込んでいたものが、上期に実現したことが主な要因であることから、通期業績予想は前回予想を据え置いている。

## 連結業績予想

(単位：億円)

	2023/3期		2024/3期			
	実績		前回予想 (5月公表値)	今回予想		対前期 増減
営業外収益	16	0.7%	14	14	0.5%	▲2
営業外費用	6	0.2%	7	7	0.2%	0
<b>経常利益</b>	<b>129</b>	<b>5.2%</b>	<b>144</b>	<b>144</b>	<b>5.1%</b>	<b>14</b>
特別損益	24	0.9%	30	30	1.0%	5
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	<b>153</b>	<b>6.1%</b>	<b>174</b>	<b>174</b>	<b>6.1%</b>	<b>20</b>
法人税等	47	1.9%	56	56	2.0%	8
<b>当期純利益</b>	<b>105</b>	<b>4.2%</b>	<b>118</b>	<b>118</b>	<b>4.1%</b>	<b>12</b>
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲7	▲0.3%	▲1	▲1	▲0.1%	6
親会社株主に帰属する 当期純利益	112	4.5%	119	119	4.2%	6
<b>R O E</b>	<b>6.6%</b>		<b>7.0%程度</b>	<b>7.0%程度</b>		

## 配当の状況(1株当たり配当額)

	2023/3期	2024/3期	
	実績	前回予想 (5月公表値)	今回予想
中間配当	66円	77円	(注1) 77円
期末配当	157円	148円	148円
合計	223円	225円	225円

(注1) 2024/3期の中間配当については、2023年11月13日開催の取締役会において、1株当たり77円を支払うことを決議しています。

### ◇当社の株主還元政策（2023/3期～2025/3期）

連結配当性向70%以上

(注2)

業績にかかわらず自己資本配当率（DOE）2.0%を下限とする。

(注2) 自己資本配当率（DOE）＝ 配当総額÷自己資本

- 中間配当は前回予想と同額
- 期末配当予想は前回予想を据え置き
- 通期業績予想における連結配当性向：70.2%

## 参考：受注高実績(個別)

(単位：億円)

	2022/9期	2023/9期	
	実績	実績	対前年同期 増減率
<b>土 木</b>	373	511	36.9%
官公庁	291	398	36.5%
民間	81	112	38.2%
<b>建 築</b>	876	966	10.2%
官公庁	69	106	53.5%
民間	807	859	6.5%
<b>合 計</b>	1,250	1,477	18.2%

### 【前年同期比】

- **土木：137億円(36.9%)増加**  
台湾の地下鉄工事の受注等により増加
- **建築：89億円(10.2%)増加**  
大型物流倉庫の受注等により増加
- **合計：227億円(18.2%)増加**

## 参考：受注高予想(個別)

(単位：億円)

	2023/3期	2024/3期		
	実績	前回予想 (5月公表値)	今回予想	対前期 増減率
<b>土 木</b>	878	900	900	2.4%
官公庁	654	700	700	6.9%
民間	223	200	200	▲10.6%
<b>建 築</b>	1,920	1,500	1,600	▲16.7%
官公庁	229	200	200	▲12.9%
民間	1,690	1,300	1,400	▲17.2%
<b>合 計</b>	2,799	2,400	2,500	▲10.7%

### 【前回予想比】

- 土木：前回予想を据え置き
- 建築：100億円増加
- 合計：100億円増加

### 【通期の受注高予想に対する第2四半期までの進捗率】

- 土木：56.8%
- 建築：60.4%
- 合計：59.1%



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

